



市看×いちかん

ちいき通信

2015年 夏号

2015年6月10日 発行

## 今号の内容



- P1. 市民による研究倫理審査  
はじまる
- ・ COCコラボ教育  
ピックアップ
- P2～3. COCフォーラム
- ・ 地域の顔  
(菅の台地区 藤原邦子さん)
  - ・ 地域づくり・健康づくり  
(須磨区社会福祉協議会 榎一美紀さん)
  - ・ コラボ教育での学び  
(編入3年生 中塚絵理)
  - ・ COC研究ひろば 第3回  
(老年看護学 清水昌美)
- P4. 活動予定

“いちかん” (い) 一緒に、(ち) 地域づくりについて、(かん) 考える をコンセプトにしています。

## 市民による研究倫理審査はじまる

神戸市看護大学 図書館長・人文科学分野 教授 松葉祥一

近年、STAP細胞をめぐる研究不正事件や、高血圧治療薬「ディオバン」の臨床研究データねつ造事件など、医学研究に関する不正がたびたび話題になっています。神戸市看護大学では、こうした研究不正を未然に防ぐとともに、研究対象者として協力していただく方々の権利を擁護するために、COCの共同研究を含むすべての研究について、研究計画段階で倫理審査を行っています。

そして今年4月施行の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(厚生労働省)によって、この倫理審査に、「一般の立場から意見を述べることのできる者」を入れなければならないことになりました。研究対象者になりうる方々の立場からの意見や、市民の倫理観を審査に反映させることが目的です。

そこで、倫理委員会では、教育ボランティアの皆さんの集まりの際に、倫理審査に一般委員として参加していただける方を募らせていただいたところ、さっそく多数の方にご応募いただきました。今後、毎回1名の方にご参加願いたいと考えております。

他大学では、一般委員の募集に苦勞していると聞いています。本学の場合、日頃から本学の教育にご協力いただいている方々のおかげで、看護にご理解のある方々に審査に加わっていただくことができ、たいへん感謝しております。神戸市看護大学では、現在も活発に学術研究が行われていますが、今後ますます倫理的な研究を行い、教育や看護実践に役立てたいと考えています。

## COCコラボ教育ピックアップ～2015年春「健康行動論」～

平成27年度より新規科目として「健康行動論」が開講しました。健康行動論は、日々の生活習慣や行動がどのように健康に影響し、また健康を維持・増進するうえで、どのように行動の変化を促すのかを学びます。より実践的なアプローチを行なうため、地域住民さんにご協力いただき、生活習慣や健康に関するインタビューを行いました。学生は聞き取った内容をもとに、健康行動理論を用いて分析します。健康相談・保健指導を業とする保健師を志す学生には必須の科目です。今回は4年生22名の学生が小グループに分かれ、7名の住民さんにご協力いただきインタビューを行いました。参加された住民の方からは「学生は、話し上手・聞き上手でした」「健康管理をしっかりやりたい」という感想をいただきました。学生の分析結果をもとに、住民の方の健康維持・増進につながることを期待されます。(写真は北須磨文化センターで行なった演習の様子)

(神戸市看護大学 地域連携教育・研究センター准教授 相原洋子)